



そのだ南

尼崎市立園田南小学校
学校便り 第7号
令和3年10月1日

HPアドレス www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html



不便さを大事にする

校長 佐藤 喜代子

朝夕が涼しくなり、子どもたちの登校姿に一枚多く重なっている光景が見られるようになりました。刻一刻と秋の気配が近づいています。今年の夏はどこからどこまでだったのか迷うほど、暑さが急に始まり、お盆の頃の長雨が過ぎると急に涼しくなるという体の方がついていけない状況でした。そんな中、新型コロナウイルスの感染が若い世代にも広がって、これからの見通しが難しい状況が続いていました。まだまだ予断を許しませんが、少し感染の減少が見られ始め、10月後半予定の体育大会は、予定通りの実施ができるようにと前向きにとらえて、準備に取り掛かるところです。子どもたちの成長した輝く姿を期待したいと思います。

先日、地域学校協働本部の働きかけで実現した地域の方のご協力で、5年生が田植え体験させていただいた田んぼの稲刈り見学をしたところです。貴重な体験をありがとうございました。

手慣れた操作で大きな農機具を自在に操る千原さんは、「以前は、機械を使ってもかなりの重労働だったものが、今はもっと便利になっている。重いものを運ばなくてもできるようになったから今でも続けていられる。」と話されていました。農業は、天候や日当たりで出来栄が大きく異なり、土と水をどう養い、維持していくかで出来たものの味が決まります。

大好きなお米を作りたいという神戸市の小学3年生が夏休みの自由研究に、今年の田植えから稲刈りまでを体験するために農家へ入門して体験し、その報告を新学期に行ったという記事を読みました。

新宅佑輔君は、朝ご飯にパンを食べた後でも、お米のご飯を食べ、夕飯には3杯はおかわりをするという大の白米好き。「どうやってお米ができるのか知りたい。自分でも作りたい。」そんな新宅君の願いを受け、地元農家の中井さんに母親が相談したところ、10年ほど使われていない休耕田約600平方メートルを借りることになり、春から米作りを始めた。全く農業経験のない状況で、中井さんやその周辺の農家の助けを受けながら、試行錯誤してコシヒカリを育ててきた。中井さん曰く「50年前のやり方」という。昔ながらの米作りにこだわった。無農薬で手作業が中心。刈った稲も機械を使わず、脱穀まで天日干しして乾燥させた。そのため、5月の田植え以降は雑草との戦いだった。毎週末に田んぼに出向いて汗を流した。足元が泥でぬかるむ中、草を抜くのは大変だったという。それでも近所の農家が話しかけ、励ましてくれた。8月の長雨や悪天候の影響で、成長した稲穂が倒れ、想定より収穫は落ち込んでしまったが、稲刈りの際には10人ほどが手伝いに来てくれた。中井さんは「大きくなってからも農業に関心を持ち続けてくれたら」とほほ笑む。肥料などの費用は、新宅君のお年玉貯金からねん出した。稲の成長や田んぼで発見した昆虫などの写真とともに米作りで気づいたことを模造紙にまとめた。「コロナのステイホーム期間を利用して学校ではできない学びができた。よくやりきった。」と母は成長を喜んだという。 参照：神戸新聞 R3.9.16

私自身、3年前まで実家の米作りを手伝っていたので、その苦勞が少しは理解できます。機械を使っても重労働で田植えや稲刈りだけでなく、その間の管理がとても手間がかかり、骨が折れる仕事ばかりです。昔の人の苦勞はいかばかりかと頭が下がります。今は、時々畑仕事を手伝うだけでへとへとになりますが、その一方で、自然とともに暮らせることの有難さを便利な都会の生活との違いを感じるにつれ、思いを新たにします。

コロナ禍の今では、都会に住む生活では、なかなか体験できない不便さが、密を避ける楽しみ方として見直されています。近年、キャンプ場がにぎわいを見せ、ソロキャンプを楽しむ人も増えているといえます。おしゃれなキャンプ用品も様々なものがあって、手軽に手に入り、テントや道具、食料品までその場でレンタルしたり、注文してそろえることができる施設があるといえます。また、キャンプ場だけでなく、田舎の古民家を改造して、それごと貸し出すサービスまでであると聞いて、ますますいろいろな楽しみ方が広がっていると驚くばかりです。

学生時代に、部活動でアウトドアなことをしていた自身の経験では、重いテントを運び、携帯など手軽な連絡手段がない中、せいぜい安否確認の意味で絵はがきを送っていた非日常的な節約旅は、いろいろな経験をさせてくれ、人と協力しないと何もできないことを身をもって学んだ気がします。そして自然の美しさと怖さを味わったのもその頃でした。社会に出てからでは難しい、学生の頃だからできる経験はたくさんあります。

不便さが人を器用にさせ、生きる力を高めることにつながるが多々あると感じます。子どもたちには、まずは、知る、体験することからです。それが、きっかけになることがたくさんあるでしょう。そんなリアルな経験を、何が日常だったのかもわからなくなっている大変な今だからこそ大事にしてほしいと思います。便利すぎることで、ものを作ることや字を書くことすら減ってしまい、不器用になっていく気がしてなりません。やはり、めんどくさいことが大事なのです。

これから始まる体育大会の練習は、みんなで力を合わせることで楽しみながら運動機能を高め、やりがいや達成感を味わうことのできる貴重な経験となることでしょうか。そんな思い出に残る大会になることを願っています。

10月

行事予定

1日(金)	諸費振替	17日(日)	
2日(土)		18日(月)	
3日(日)		19日(火)	
4日(月)		20日(水)	委員会 卒業アルバム写真撮影(個人)
5日(火)		21日(木)	●
6日(水)	クラブ(卒業アルバム撮影予備日)	22日(金)	体育大会(午前中) 全学年5校時まで(給食あり)
7日(木)	●	23日(土)	リズムダンス発表会(午前中) 4校時まで(給食なし)
8日(金)	15時健康診断(午後)	24日(日)	
9日(土)		25日(月)	代休日
10日(日)		26日(火)	体育大会・リズムダンス発表会予備日 代表委員会 6年・出前授業(能、狂言) 園田南小学校創立記念日
11日(月)	読書週間	27日(水)	体育大会・リズムダンス発表会予備日 アルバム撮影予備日(個人)
12日(火)	自然体験学習(5年) 卒業アルバム写真撮影(学年)	28日(木)	修学旅行保護者説明会 ●
13日(水)	登校指導 諸費振替	29日(金)	
14日(木)	●	30日(土)	
15日(金)		31日(日)	●は定時退勤日
16日(土)			

※今後の感染状況に応じて変更する場合があります。ご了承ください。

11月予定 12日(金)音楽会(児童鑑賞日) 13日(土)音楽会(保護者鑑賞日)
15日(月)音楽会代休日 26日(金)地震津波避難訓練
29日(月)、30日(火) 6年生修学旅行

2学期
生活目標

友だちの気持ちを大切にし、力を合わせてがんばろう

10月のめあて

友だちとなかよく遊ぼう



運動の秋、身の回りに気をつけよう

昨年度と同様、今年度の9月もけがをして保健室へ行った児童がたくさんいました。涼しい秋風の中を元気に遊ぶことはたいへん嬉しいことですが、同時につまずいたり、転んだり、つき指等をしたりして手当を受けるお子さんが増えています。ちょっとした気遣いで、防げるけがもあります。周囲をよく見るなど気をつけて遊ぶように意識させたいと思います。

創立記念日

10月26日(火)は、創立記念日です。今年で42回目です。これからもよい伝統を守りながら地域に根ざした園田南小学校になりますよう努力してまいります。

